

Discovery H. S. Kanzaki

2019. 10. 28

第442号

兵庫県立神崎高等学校

TEL 0790-32-0209



夢を発見し実現できる学校

ディスカバリー

ハイ スクール

カンザキ



西播地区高校生英語スピーチコンテスト
小林直央さん出場
10月12日(土)、姫路市文化センターにおいて、西播磨地区高校生英語スピーチコンテストが台風による警報により、ビデオ審査になりました。本校からは2年1組の小林直央さんが「思いやりの心を持つ」(日本語訳)という題で出場しました。今日、多くの障害を持たれている方がおり、その方が気持ちよく暮らしていくためにユニバーサルデザインが色々なものに取り入れられており、共生社会の中でど

10月23日(水)、グリーンデルホールにて、本校全校生徒と神河中学校3年生を対象に「中高連携文化講演会」を行いました。講師に来ていただいたのは、木戸俊介さんです。神戸出身である木戸さんは、幼いころからサツ



中高連携文化講演会

のように暮らしていくかという内容でした。「一人は、すべての人のためにそして、すべての人は一人のため」という言葉だけでなく、気遣いの心も持つことが重要だと主張しました。神崎高校にとっても、今回の英語スピーチコンテスト参加は大変貴重な経験となりました。



カーに打ち込む少年でしたが、就職後の事故による胸椎損傷から下半身が完全麻痺の状態になってしまわれました。しかし、誰もが絶望するような状況の中でも、木戸さんは再び歩くことを諦めず、リハビリのためにアメリカに行くなど日々奔走されています。努力家であるというだけでなく、車いすでの生活の中で夢を見つけ、叶えるビジョンを持ち、ポジティブに生きる方法を持った方でした。木戸さんの話を通して、生徒たちは人間としての強さや夢を叶えるために必要なことを学んでくれたと思います。



10月21日(月)、7時間目の時間を利用して、1年生を対象に、姫路市上垣法律事務所より、上垣孝俊弁護士を講師としてお招きし、人権教室を開催しました。内容は、「消費者問題・消費税について」と題して、講演をしていただきました。10月から消費税が増税し、軽減税率など難しい問題が出てくる中で、身近な事例を取り上げていただきながら、わかりやすく解説していただきました。生徒たちにとっても、身近に直面する問題を深く考える良い機会となりました。お忙しい中、ありがとうございます。

弁護士による人権教室

ちょっと一言 ◇どの取組の中にも、まず「命一番」を心のど真ん中に根づかせ、学年進行とともに「自主力」「相補力」「折合力」、そして最終学年では「知徳体」のバランス感覚を身につけさせるという、神崎高校の5つの目標達成に向けた工夫を盛り込んでいます。日々、子どもたちも、先生方も成長しています。これもひとえに、叱咤激励も含め、様々な形で応援して下さる皆様のおかげです。ありがとうございます。(N. A.)

・「神崎夢実現プロジェクト」
・部活動「外部指導者」・「神高部活動基金」を募集しています。

詳しくは神崎高校へご連絡
いただくか、ホームページを
ご覧ください。

